

社会福祉法人やながせ福祉会が目指す支援とケアの役割

1 社会福祉法人やながせ福祉会の理念に基づくケア

いたわりと思いやり

当法人の開設時の思いである「いたわりとおもいやり」を遂行するための行動規範として、利用者個人の尊厳の保持、利用者の自立支援、利用者の生活と権利の保障並びに良質で適切な福祉サービスの提供について、認識を深め確固たる倫理観の基に専門的で公平・公正なサービスを実践するための自己管理の徹底を図る。

2 社会福祉法人やながせ福祉会 高齢者福祉事業における理念

人権の尊重

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、出来る限りの生活の質の向上を図る。

3 職員倫理

私達は、常に利用者対し

- ・ 一人の人として、利用者の人権・人格の尊厳に努める。
- ・ 一人の人として、利用者が社会の仲間として安心して生活が送れるよう援助・支援する。
- ・ 利用者と共に歩み、信頼される職員になりよう研鑽に努める。

4 社会福祉法人やながせ福祉会における事業の目的

身体上又は精神上著しい障がいがあるため、常時支援を必要とし、かつ居宅において支援を受ける事が困難な要介護者を受入れる。

そして、利用者がその有する能力に応じて可能な限り自立（自律）した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とし、利用者に日常生活を営むために必要な居室及び共用設備と介護福祉サービスを提供する。

5 社会福祉法人やながせ福祉会における事業の基本方針

利用者にとってかけがえのない人生を自立した一人の人として、楽しく幸せに生き甲斐のある生活が送れるよう、いたわりと思いやりのある暖かい雰囲気の中で質の高いサービス提供に努める。

6 社会福祉法人やながせ福祉会における支援の基本理念

(1) 自己決定の尊重

利用者自身の主体性や意思を尊重した接遇や支援を行う。

(2) ADLの向上を目指す

現存能力を活用して、心身の自立（自律）を目指す支援を行う。

(3) 利用者の生活を豊かにする

ユニット機能を活かし、利用者個々のライフサイクルに合わせた支援を行う。

7 社会福祉法人やながせ福祉会における支援の基本方針

利用者のニーズや意思及び主体性を尊重するとともに、現存能力（ストレングスやエンパワメント）を活用しつつ、動機付けなどの支援によって自立性を引き出し、生活の質の向上に努める。

利用者が安心して生活し、心身ともに健やかに生き生きとした生活を過ごすことができるよう、明るく楽しく、いたわりと思いやりのある暖かい家庭的なケアを目指す。

職員は、常に利用者を主体とし、利用者の立場に立って考え行動することを基本とする。そのために技術や知識の積極的な集積、さらに、施設内外の研修に参加するなど自己の向上・研鑽に努める。

8 社会福祉法人やながせ福祉会におけるケアの目標

(1) 一人ひとりの人権・人格を尊重した暖かいケアの実践

(2) 「自律支援」を念頭に、ADLの自立を目指したケアの実践

(3) 言葉として意思表示できない、また、自己主張のできない部分に気づき、配慮したケアの実践

(4) 一人ひとりのニーズを受容・認識し、それに基づいた施設サービス計画の作成、実践

9 社会福祉法人やながせ福祉会における職員の処遇

個人情報保護規程や倫理規程を遵守したケアを実践するなど福祉に携わる職員としての誇りと自覚、責任を持ち、何事にも前向きな姿勢で取り組むことのできる環境作りに努める。

施設内研修を積極的に実施するとともに、外部の研修会や講演会等にも参加し、幅広い知識や技術を身につけ、職員としての教養と品位を高めるよう努める。

労働基準法を遵守し、職員の健康保持及び管理には、十分に留意するとともに心身の健康増進を図るため、レクリエーション等を積極的に取り入れ、働きやすい職場、明るい職場、楽しい職場としての環境作りを推進する。

職員の福利厚生に努める。